



議会だより

Vol.125



田子町最大のイベント!! 「第40回にんにくとべごまつり」
田子牛の丸焼きをはじめ、世界にんにく飛ばし大会等、様々な食が堪能できます

1. にんにくとべごまつり／多古町議会視察・・・・・・・・・・ P2～3
2. 定例会のあらまし／議案審議結果・・・・・・・・・・ P4～5
3. 一般質問・・・・・・・・・・ P6～9
4. 決算審査・・・・・・・・・・ P10～11
5. 議会活動・・・・・・・・・・ P12～13
6. なかの東北絆まつり・・・・・・・・・・ P14

千葉県多古町議会視察受け入れ

令和7年10月3日
千葉県多古町議会議員視察受け入れ



創遊村視察



せんべい焼き体験



にんにくとべごまつり / 千

令和7年10月4日
にんにくとべごまつり



田子町自慢の“田子牛” 食べずにはいけない!!

町名が似ていることから交流が始まった「千葉県多古町」と「青森県田子町」。

6月は当町から多古町へお邪魔させていただき、今回は、多古町から鵜澤議長をはじめ4名の議員の皆様が来町され、創遊村で、せんべい焼き体験や茅葺き屋根の古民家を視察されました。

また、にんにくとべごまつりでは、当町特産の「田子牛」や田子牛の丸焼きを食しながら、当町と多古町との交流を深めることができ、今後両町の発展のため、実りある交流活動を行いたいと思います。

定例会

令和7年第3回定例会が9月4日から9月11日までの8日間の会期で開催されました。

9月4日には諸般の報告、議案の上程・説明がされました。

9月8日の一般質問には3名の議員が登壇し多岐にわたり活発な議論がかわされました。

9月9日、議案の審議が行われ、同日、決算特別委員会が設置され11日まで開催し、一般会計から特別会計決算について審議がなされました。

9月11日には認定第1号及び、追加提案の審議、議員派遣の件各常任委員会に係る所管事務調査の承認が行われました。

臨時会

令和7年第2回臨時会が、7月11日に開催され、議案2件が可決されました。

下記、議案等の採決結果については、時系列となります。

議案番号	議案等の採決結果 件名と主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		議決結果	尾形 憲男	桃本 義見	宮村 尚哉	欠端 則夫	山崎 美代志	欠 員	山崎 一義	菊地 健二	中平 美賀子	澤口 勝
令和7年田子町議会第2回臨時会												
議案第39号	○動産の買入れについて（消防ポンプ自動車購入）	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	－
議案第40号	○令和7年度田子町一般会計補正予算（第3号）について・・・歳入歳出それぞれ5，294千円を追加する。	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
令和7年田子町議会第3回定例会												
議案第41号	○田子町議会議員及び田子町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について・・・選挙運動用ビラやポスターの作成に要する経費の上限額が引き上げられたため関係条項を改正するもの。	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	－
議案第42号	○職員の育児休業等に関する条例の一部改正について・・・育児休業の部分休業の取得方法の多様化に係る所用の改正及び整備を行うため、改正するもの。	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第43号	○田子町教職員住宅使用料条例の一部改正について・・・教職員住宅4棟のうち2棟を用途廃止するもの。	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第44号	○令和7年度田子町一般会計補正予算（第4号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第45号	○令和7年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第46号	○令和7年度田子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第47号	○令和7年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議案第48号	○令和7年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－

議案 番号	議案等の採決結果 件名と主な内容 賛成・・・○ 反対・・・× 欠席・・・欠 退席・・・退 議長は採決に加わらないため・・・－	議席 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		議決 結果	尾形 憲男	桃本 義見	宮村 尚哉	欠端 則夫	山崎 美代志	欠 員	山崎 一義	菊地 健二	中平 美賀子	澤口 勝
認 定 第 1 号	○令和 6 年度田子町各会計歳入歳出 決算の認定について	原案 認定	○	○	○	○	○		○	○	○	－
議 案 第 49 号	○令和 7 年度田子町一般会計補正予算（第 5 号）について・・・ 令和 7 年 8 月 2 0 日の大雨被害による、災害復旧に係る補正。	原案 可決	○	○	○	○	○		○	○	○	－

議員活動出席状況

地方議会議員の活動は、単に本会議（定例会・臨時会等）などの会議に出席し、議案の審議などを行うだけでなく、当該地方公共団体の事務に関し調査研究するための研修会等の活動や、住民代表として住民意思を把握するための活動等、広域的かつ多岐にわたります。

会議等の名称	派遣場所	派遣期間	派遣議員
町村議会広報研修会	東京都	8 月 2 8 日	尾形・欠端・山崎・菊地
田子小学校学習発表会	田子町	9 月 2 7 日	尾形
田子町敬老会	田子町	1 0 月 1 6 日	全議員
正副議長事務局長研修会	青森市	1 0 月 2 1 日	澤口・尾形・欠端・宮村
美しい村20周年記念	東京都	1 0 月 2 4 日	澤口
なかの東北絆まつり	東京都	1 0 月 2 5 日	澤口・宮村・欠端 菊地・中平

活動予定

会議等の名称	派遣場所	派遣期間
世紀越えトンネル全体会	鹿角市	1 1 月 5 日
郡議長会議員研修会	五戸町	1 1 月 2 0 日
東京田子会	東京都	1 1 月 2 3 日

議会を傍聴しませんか！！

田子町では 3 月に第 1 回定例会、6 月に第 2 回定例会、9 月に第 3 回定例会、1 2 月に第 4 回定例会が行われ、随時、臨時会が開かれます。定例会は一般質問を含め会期中は、基本的に傍聴することができます。

※開会は前月末に行われる場合があります。

※T C Vでは編集して放送しています。

※会期日程については田子町役場ホームページをご覧ください。

一般質問

9月定例会では9月8日に一般質問が行われ、
3人の議員が町政について質問をしました。
内容は、質問した議員が要約し広報委員会が調整したものです。
ＴＣＶでは録画放送を行っていますので、ぜひご覧ください。

○欠端議員・・・P 7

- ・ 捕獲鳥獣のジビエ化について
- ・ 自治会による草刈り等の活動について

○菊地議員・・・P 8

- ・ 旧県立田子高等学校の敷地・建物の利活用について
- ・ 次期田子町総合計画における人口減少・少子化対策について

○山崎（一）議員・・・P 9

- ・ 防災について
- ・ 有害鳥獣被害対策について
- ・ 上水道旧管の更新について

○一般質問は、町政全般にわたり疑問点を問いただし、町の様々な仕事について報告・説明を求め、町政のチェックを行う大事な議員活動の場です。

ジビエの問題点と自治会活動について



欠端 則夫 議員



Q 狩猟期外は全期間駆除の対象として書類を扱うべきではないか。

A イノシシとニホンジカは町が策定した有害鳥獣被害計画において、年間を通じた全期間駆除が実施できる。熊は県の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画が策定されていないが、策定された後は町でも適正に実施したいと考えている。町では、引き続き猟銃免許取得者確保対策を実施し、年間駆除実施に向けた方策を検討していく。

Q 捕獲鳥獣のジビエ化にはどのようなハードルをクリアすれば良いか。

A ジビエ化には、
①安定的な捕獲頭数の確保
②消費者が安心して購入出来る品質保持のための様々な検査や衛生管理
③加工施設を維持するための販売先の確保。

以上、3つの項目をクリアしなければならず、町で実施する事は厳しいと考えている。
民間で実施する場合には関係機関とともに指導等を行っていく。

Q ジビエなので無いときは無いという考え方でも良いのではないか。

A 町の予算を投入して行う以上は、費用に対する効果もきちんとしなければならぬため、町ではその事業を行う予定は今のところは無い。

Q 猟銃の免許を取って銃を持つ人にもう少し補助を多く出来ないか。銃は高額であることも免許取得を躊躇する理由の一つではないか。

A 銃の免許以外にも色々な事に経費が掛かる事が分かっている。ので、十分検討したい。



Q 近年は住人の高齢化が著しく草刈りの等の作業が負担となってきた。この事に町としてはどのような考えを持っているのか。

A 町としても重要な課題であると認識している。今後においては地域の現状を把握し自治会で出来る事はお願ひしながら、町の機械による草刈りの実施や、国・県道は県に要望をするなど適切な対応をしていく。

Q 業者への発注や草刈りではなく、除草剤の散布なども考えてはどうか。

A 除草剤を使用している自治会もあるように見受けられる。各自治会等との話し合いで色々な事を考えていく。





菊地 健二 議員

旧田子高校の利活用

次期田子町総合計画について

令和4年3月で廃校となった
旧田子高校の町民利活用について

Q 県から示されている条件は。

A 県有財産の譲渡の条件は、県条例において、地方公共団体等が公共事業を行う場合は、無償譲与または減額譲渡できると規定されている。譲渡価格は5割軽減が通常であるが、教育用途であれば無償譲与の可能性がある。

Q 現在までの取り組み状況は。

A 県担当課に出向き、譲渡の流れの確認、無償・有償の基準、譲渡の形式や他町村の事例の確認を行っている。その後、特別支援学校として活用できないか県担当部局と協議したが、児童生徒数の減少が見込まれることから難しいとの回答を得ている。

Q 今後の予定は。

A 弓道場の一部利用については、管理人設置が必要とのことから関係者と協議中である。全体の利活用については、広大な敷地・建物となり、多額の譲渡費用や維持管理費が見込まれることから、町民に喜ばれる良いアイデアを検討して参ります。

Q 小・中学校、幼稚園を集約化し、田子高校で展開してはどうか。また、海外からの研修生や移住・定住した方の研修施設としての利活用についてどう考えるか。

A アイデアとして受け止める。事業化するためには、様々なアイデアを出し合い、政策に高めて事業化していくことだと考える。今後、町と議会で様々なアイデアを出し、政策につなげる。

次期田子町総合計画における
現時点での人口減少・少子化
対策の考え方について

Q 産業の振興、医療・福祉や教育環境の充実、防災対策の拡充など多岐にわたる施策の実施が急務であり、人口減少や少子化対策の取り組みが急務と考える。総合計画における町長の考えは。

A 総合計画は行政の運営の基本方針であり、現在策定に取り組んでおり、人口減少及び少子化対策について、4つの視点で実施していく。

1. 魅力ある仕事をつくり、人材の育成を図る。
2. 地域の魅力を発信し、定住等の人の流れをつくる。
3. 町民が健康で安心して暮らせるまちづくりを進める。
4. 若い世代が希望をもって結婚

し、安心して子どもを産み育てられる環境を整える。
公表されている将来推計人口と比較し、緩やかな減少となるよう、総合計画の策定と施策の展開を実施していく。

Q 現状での町の状況を考えると、次期総合計画では、人口減少、少子化対策を最重点課題と位置づけ、その対策をわかりやすい表現で明記し、様々な場面で町長自らの言葉で情報発信することで、町民の不安解消等につながると考えるが、町長の考えは。

A 総合計画が策定された際は、テレビ町長室等を活用し、政策などを情報は発信していく。
町が存続するためには、地域が存在しなければならぬ。地域が存続するためには、各々の家庭で後継者を残さなければならぬ。町は、今後もそのような取り組みに寄り添いながら支援していく。



山崎 一義 議員

安全・安心な地域作りに向けた

取り組みについて

防災について

Q 調査している井戸水、湧き水の箇所数について伺う。

A 調査の結果、井戸水30力所、湧き水40力所と報告を受けている。

Q 現地調査、内部検討、確保できるまでの日程を伺う。

A 町民と現地調査を行い、使用協力頂けるところは水質検査をし、飲料水と生活用水で使用する場所を区分けする工程で本年中に実施し、速やかに情報提供していく。

Q 防災マップの見直し作業は進んでいるのか伺う。

A 最新情報のため、全体的な見直しはまだ先になる。別に地域防災計画を現実に即した内容に

するため、調査しながら見直しを進め、自主防災組織の育成と地域防災に取り組んでいく。

Q 防災士の今年度の受講者数と活用法について伺う。

A 今年度は2名である。活用法は自分の身を最優先しながら、避難誘導、情報収集等や地域の防災活動のリーダーとして活動することとなる。

Q 農作物等の被害状況や捕獲等の実績について伺う。

A 令和6年度実績で、いも類43・5アール、果樹20・6アール、豆類19アール、その他水稻・野菜等がある。捕獲や駆除は、獺期も併せて、熊11頭、ニホンジ

カ5頭、イノシシ16頭の実績となっている。

Q 人的被害対策として「緊急銃獺」が可能となったが、マニュアル作成など今後町ではどのように進めていくのか伺う。

A 緊急銃獺は、場所、緊急性方法、安全性の確保の4つの条件を全て満たした場合のみ、市町村長の判断で、緊急的な発砲が可能となる。現段階では、現状の警察官による発砲命令で行いたいと考えているため、対応マニュアル等の策定は計画していない。今後、他町村からの情報収集や共有、警察等関係機関との協議や情報収集、国の動向を考慮しながら進めていく。

Q 緩衝帯の整備やICT機器を活用した捕獲などの対策は、検討され進んでいるのか伺う。

A 緩衝帯については、2力所で実施し、効果の実証を行うこととしている。ICT機器は、箱罾でシステムを導入し、有効性を感じている。今年度は通信機能付きカメラを導入し、捕獲の向上、労働力の軽減にもつなげていきたい。

Q 国では「鋳鉄」製の旧管の更新をするため、更新計画作成を求めたとあるが、いつ頃から作成していくのか伺う。

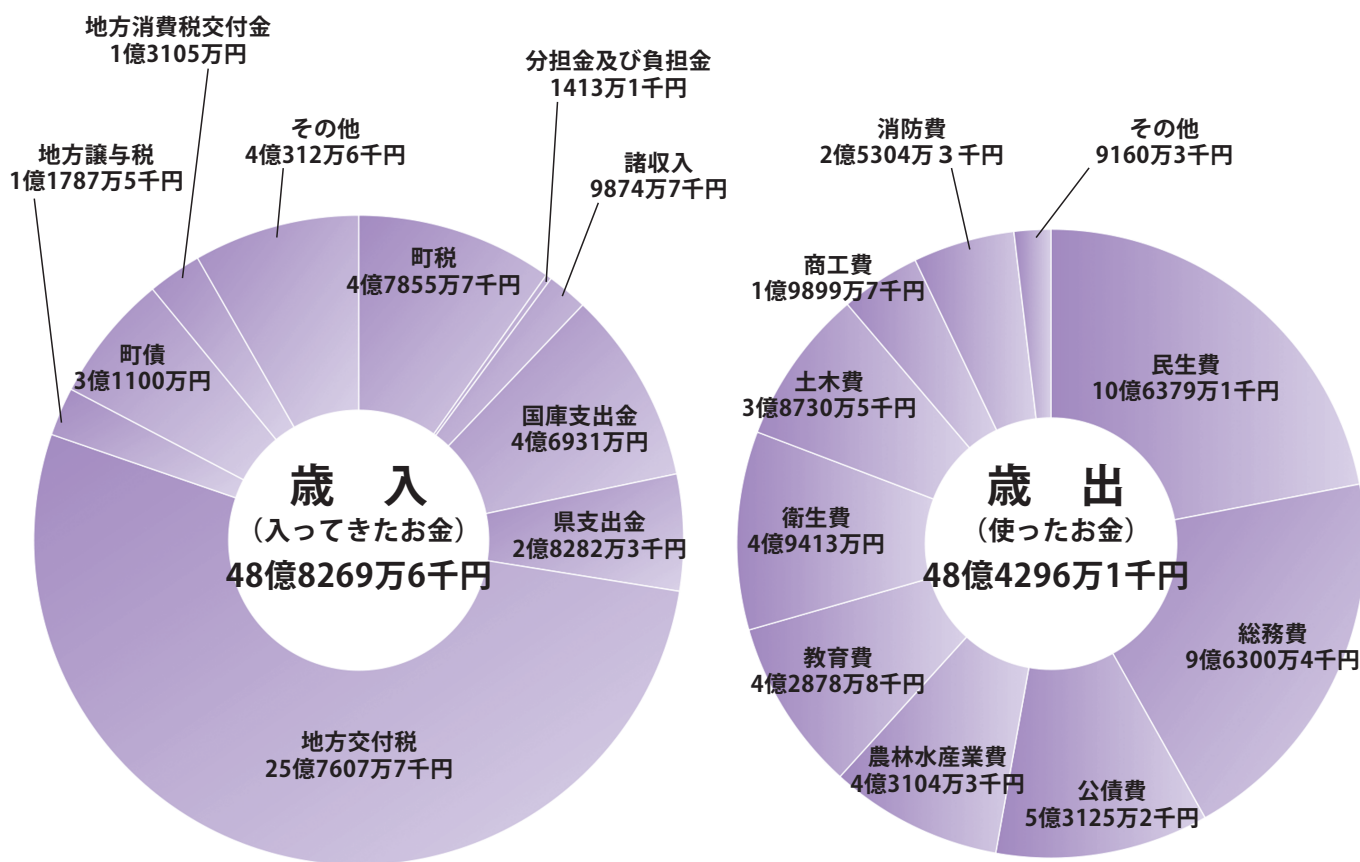
A 令和7年6月30日に通知があったが、対象となる管路を調査したところ、ダクタイル鋳鉄管等で更新に該当しないため、計画書の策定は不要である。

Q 町の上水管の総延長は何mか伺う

A 令和6年度末で10万3491mとなっている。

一般会計48億円の歳出決算を認定!! (前年度比0.7%減)

令和7年度決算特別委員会では、一般会計・5特別会計の
決算を審議し、全会一致で原案のとおり認定しました。



一般会計及び特別会計とも、予算の執行については、効率的かつ適正な執行が行われていることを確認し、事業の執行についてもおおむね良好に進捗しており成果が認められました。

歳出面では自主財源等の減少が進むなか、年々厳しさが増す昨今でありますので、健全かつ着実な財政運営を図るべく、歳出の抑制に努めなければならぬものと思われまます。

よって、今後の事務事業の予算編成及び予算執行に当たっては、本町のおかれている現実への認識を深め、職責上の自覚を持ってこれに望み、行政上の効果を高めるよう努力していただきたいものであります。

特別会計に係わる事業運営は、後期高齢者医療特別会計、診療所・老健施設事業特別会計に係る経費が増加の傾向にあるため、一般会計からの繰出金依存度を軽減するためにも、保健福祉事業等の推進、施設・備品等の適正管理など創意工夫に努力することを望みます。

田子町監査委員

高沢 靖直
菊地 健二

決算特別委員会 質疑応答（要旨）

※一部抜粋して掲載しています。

○尾形委員
病後児保育事業補助金とはどのようなものなのか。

●住民課長
病気やけがなどから回復途中である児童を一時的に預かる事業です。令和6年度の実績は0人となっておりますが、対応できるよう待機し、体制を整えてもつための必要な経費です。

○尾形委員
文化観光交流施設「みろく館」の現在のランニングコストと維持運営に関して今後の見通しは。

●商工振興課長
令和4年度オープン以来、町直営で管理運営を行っており、人件費2名分を含む維持管理総計は、3カ年平均で800万円から900万円くらいとなっております。

観光協会とはイベント等を通して連携し、一緒にやってきています。観光振興をする上で観光協会は不可欠ですので、まず

は事務局機能の強化、人材育成に努めているところです。

○欠端委員
公営塾実施業務委託料とあるが、何日実施したのか。

●教育課長
中学3年生を対象とした高校受験講座は30日、夏休みに行った集中講座は中学3年生・2年生各5日ずつです。



主な歳出について

公債費

町債として借りたお金の返済など

衛生費

予防接種、検診などにかかる費用

総務費

国際交流や主な庁舎の維持管理、様々な政策にかかる費用

農林水産業費

農畜産業支援や産業振興などにかかる費用

土木費

道路や橋の整備や維持などにかかる費用

民生費

社会福祉や子育て支援、定住移住政策などにかかる費用

教育費

給食や小・中学校、文化財の保存、活用などにかかる費用

商工費

観光振興や施設の維持管理などにかかる費用

令和7年10月22日 二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会総会

二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会研修会では隣接する1市2町の議会議員が、共通の課題解決に向け取り組んでいます。

今回、総会後に「鳥獣被害対策について～個人で、地域でやれること～」と題し青森県三八農林水産事務所農業普及振興室主査・今井達也氏を講師に招き、研修会を行いました。

行政と町民が一体となった対策を
(澤口 勝)

①入れない ②近づけさせない
③増やさない！対策必須 (尾形 憲男)

見通しを良くしクマやイノシシ等の
隠家無くする (椛本 義見)

持続的な防除は地域の対策意識の構
築が必要！ (宮村 尚哉)

どの自治体でも害獣には頭がいたいよ
うだ (欠端 則夫)

関係機関と一丸となり被害防止！
(山崎 美代志)

行政、集落、地区の連携と町民の対
策意識 (山崎 一義)

ステージが変わった鳥獣被害。新たな
対策を (菊地 健二)

鳥獣被害対策として個人、地域でや
れること (中平 美賀子)

令和7年8月28日 町村議会広報研修会 全国会



議会だより

読まれる広報誌に！ 743町分の田子町、住民の政治参加をうながすツールに！
(尾形 憲男)

北から南まで全国の議会広報を作る方々が年に1度の研修に集まって考えさせられた
(欠端 則夫)

広報もホームページを使うなどデジタル化。先進事例を学び、アイデアで読まれる広報へ
(菊地 健二)

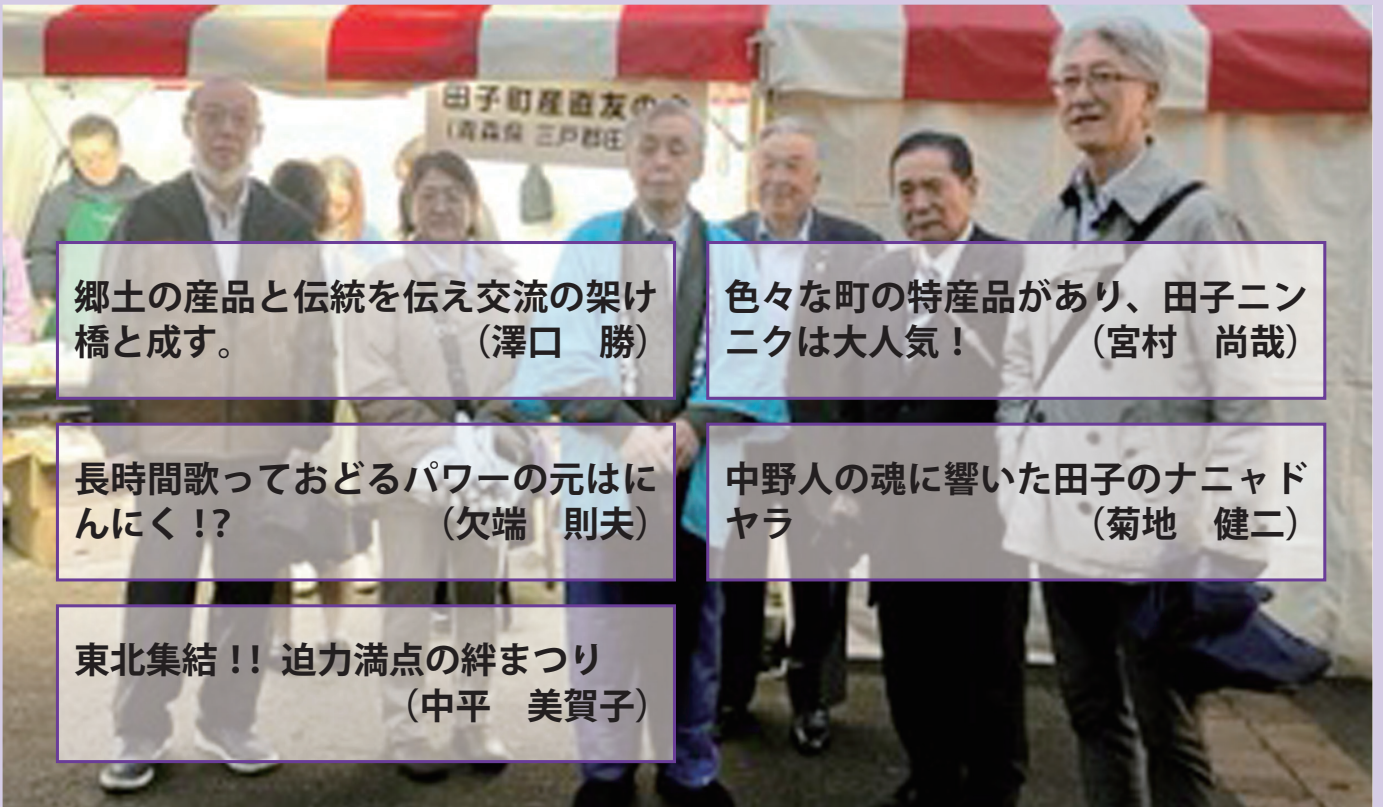
令和7年10月21日 正副議長事務局長研修会



令和7年10月25日
2025なかの東北絆まつり



東京都中野区
で開催された
「2025なか
の東北絆まつ
り」では、東北
各地の名産品や
B級グルメ、郷
土芸能が集結し
ました。



郷土の産品と伝統を伝え交流の架け
橋と成す。
(澤口 勝)

色々な町の特産品があり、田子ニン
ニクは大人気！
(宮村 尚哉)

長時間歌っておどるパワーの元はに
んにく！？
(欠端 則夫)

中野人の魂に響いた田子のナニヤド
ヤラ
(菊地 健二)

東北集結！！ 迫力満点の絆まつり
(中平 美賀子)

つばやき

先般、日本一の議会
報というものを見た
が、これだけのものを
作るには大変な労力と
時間を有するだろうな
と感心した。

高い山を見て登山を
諦めるような心になっ
たが、それもできない
ので、まずは町で作ら
れ配られる広報誌や配
布物の中で、一番先に
町民の皆様の手にとっ
て頂けるように、私た
ちなりに考えてやって
行こうと思った。

(欠端 則夫)

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会

(125号)

委員長 欠端 則夫

副委員長 菊地 健二

委員 尾形 憲男

宮村 尚哉

山崎 一義

執筆協力

全議員